

1995年の初騎乗以来、女性騎手最多勝記録を更新し続ける宮下瞳さん。介護や子育てのため、いったんは競馬界から引退したものの、2016年に復帰。女性騎手の新しい道を切り開いています



【巻頭特集】 女性最多勝利記録を更新中

# 宮下瞳 騎手

## 前人未到の800勝を達成 女性騎手のカリスマ

2019年9月4日に開催された「第12回名古屋けいば 秋の鞍シリーズ」で、地方競馬通算800勝を達成した宮下瞳さん。2012年に長男、2014年に次男を出産し、子育てをしながら女性騎手最多勝利記録を更新し続ける、日本唯一のママさんジョッキーです。

子どもにもかっこいい姿を見せることができてよかったです

の影響も大きかったです」ときつかけを語ります。

初騎乗は1995年10月22日、18歳のときでした。「デビュー戦は気持ちがあつた間に終わってしまった」と言うものの、その2日後のレースで見事、初勝利を果たします。

宮下さんがデビュー以来、心がけているのは、「一つひとつのレースに対する姿勢。レース前の調教トレーニングでは、周囲が深夜2時頃から準備を始める中、その30分以上前にスタート。誰よりも早く、多く、馬に乗るよう実践してきました。その考えは、今も変わりません。

### information

名古屋競馬場  
名古屋港区泰明町1-1  
052-661-9791 (代)  
\*2022年4月に  
弥富トレーニングセンターへ移転予定

## 介護と子育てに専念するため 2011年に騎手をいったん引退

2009年8月、韓国・釜山で開催された「第1回KRA国際女性騎手招待競走」に日本代表として出場。各国の女性騎手が集まる招待レースで優勝を飾りました。それを機に、所属する名古屋競馬場から短期で韓国・釜山の競馬場へ。韓国リーディングジョッキーランキングで5位にランクインし、GIのグランプリにも騎乗約1年間の遠征で華々しい結果を残して帰国しました。

その時期、家族の病気が発覚。看病のため3カ月ほど騎手の仕事から離れます。「海外レースにも出場し、騎手としては、やりきったという気持ちでした」。同じくして子どもを授かったことから、2011年8月、引退を決意しました。

## 5年のブランクを経て 騎手復帰を果たす

介護や子育てのために、いったんは競馬界から退いたものの、再び競馬の世界に戻った背景には、子どもたちの存在がありました。

「私が騎手だったと知らない長男から『ママが馬に乗る姿を見てみたい』と言われ、もう一度、騎手になりたいという気持ちが湧いてきたんです」。

その時、長男は3歳、次男はまだ生まれたばかり。騎手の仕事は深夜から始まるため、子育てのサポートが必要です。「鹿児島で暮らす父に相談したら、最初は驚いていました

が、「1年くらいなら、名古屋に住み込んで手伝える」と言ってくれたんです。とてもありがたかったです」。

騎手を辞めてから、馬に乗るどころか一切の運動をしていなかった宮下さん。まずはランニングや水泳などの体力づくりに取り組みました。厩務員として馬の世話をしながら、合間に騎手免許試験の筆記対策と実技練習をするなど、改めてゼロからのスタートでした。

そうして迎えた2016年8月17日、名古屋競馬場での復帰第一戦。「睡眠2〜3時間という大変な生活を1年近く続けてからの勝利は、本当にうれしかったです」と宮下さん。一生懸命で、何が何かわからないまま終わってしまったデビュー戦とは違い、復帰戦は楽しみながら騎乗できたと言います。

「みなさんからの声援も聞こえてきて、感動しました。子どもにもかっこいい姿を見せることができてよかったです」と満面に笑みを浮かべ語ってくれました。

復帰から3年が経ち、地方競馬通算800勝を達成した今、次なる目標として掲げるのは1000勝です。

「人も馬もケガがないようにと騎乗しています。これからも楽しみながらレースに臨みますので応援してください」と目を輝かせます。

現在、コンビを組んでいるホルタディソーニ号と重賞3つを制するなど、復帰後もパワフルに活躍し続ける宮下瞳さんから目が離せません。



1.2.サラブレッドは2歳になると、レースのデビューを目指してトレーニングセンターへ。名古屋競馬場のトレーニングセンターは弥富市にあります  
2.弥富トレーニングセンターの総面積は約77万㎡で、名古屋ドーム16個分。58棟の厩舎に1160頭の競走馬を収容することができます



### Profile

## 宮下 瞳

1977年5月31日生まれ、鹿児島県出身  
152cm / 46kg / A型  
女性騎手最多勝利記録を更新中。好きな騎乗法は先行で、アピールポイントは馬に対してあたりが柔らかいところ。思い出のレースは、自身が復帰した頃に名古屋競馬場へ来たホルタディソーニと3つの重賞を優勝できたこと  
令和元年度女性のチャレンジ賞(男女共同参画大臣賞)受賞